



戯曲デジタルアーカイブ

Playtext Digital Archives

令和6年度

文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業

現代日本の劇作（英語）

報告書

2025年2月

一般社団法人 日本劇作家協会

本報告書について

令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業「現代日本の劇作（英語）」は、独立行政法人日本芸術文化振興基金の委託を受けて、一般社団法人日本劇作家協会が受託した事業である。

現代日本演劇を海外に紹介するために英訳戯曲集の「ENGEKI:Japanese Theatre in the New Millennium 10」の製作・出版を行い、あわせて、日本語戯曲の翻訳（主に英訳）状況についての調査を行った。

日本語戯曲の翻訳状況調査については、日本劇作家協会アーカイブ委員会が担当した。

上記調査内容を共有するために、本報告書を作成する。

日本劇作家協会アーカイブ委員会委員長 黒澤世莉

目次

- 1. プロジェクト概要

- 1.1 プロジェクトの目的
- 1.2 調査対象
- 1.3 実施内容

- 2. 調査結果

- 2.1 翻訳版の有無
- 2.2 アンケート・聞き取り調査結果

- 3. 分析と考察

- 3.1 分析
- 3.2 考察

- 4. 今後の展開と総括

- 4.1 収集した情報の公開方法
- 4.2 総括

- 4. 付録

- アンケート調査票
- 調査記録

1. プロジェクト概要

1. プロジェクト概要

1.1 プロジェクトの目的

日本劇作家協会が運営する戯曲デジタルアーカイブに掲載されている戯曲について、他言語への翻訳、特に英訳版の有無を調査する。

もし英訳版がある場合は、その入手方法なども調査する。

1. プロジェクト概要

1.2 調査対象

「戯曲デジタルアーカイブ」掲載戯曲の作家

「戯曲デジタルアーカイブ」掲載戯曲の著作権管理者

調査件数

掲載作家・著作権者数である497人

掲載作品数の989本

1. プロジェクト概要

1.3 実施内容

調査対象の抽出

調査対象に対するwebアンケート

調査員による調査

調査結果の分析、考察

報告書作成

報告を「戯曲デジタルアーカイブ」等に公開

2. 調査結果

2. 調査結果

2.1 翻訳版の有無

「戯曲デジタルアーカイブ」登録戯曲の翻訳状況

2023年までに登録された全戯曲について調査した。

調査方法は、劇作家または権利者に、webアンケートを依頼した。

戯曲総数は989本であり、内762本について回答を得えた（回答率77%）。

回答が得られなかったものについては、調査員による調査を行った。

2. 調査結果

2.1 翻訳版の有無

調査の結果、戯曲総数989本のうち、
903本は日本語のみ、86本は他言語訳が存在した。

86本の他言語訳の内、対応している言語は以下の通り。

英訳あり 59本

英訳＋その他の言語の翻訳あり 22本

その他の言語翻訳あり 49本

2. 調査結果

2.1 翻訳版の有無

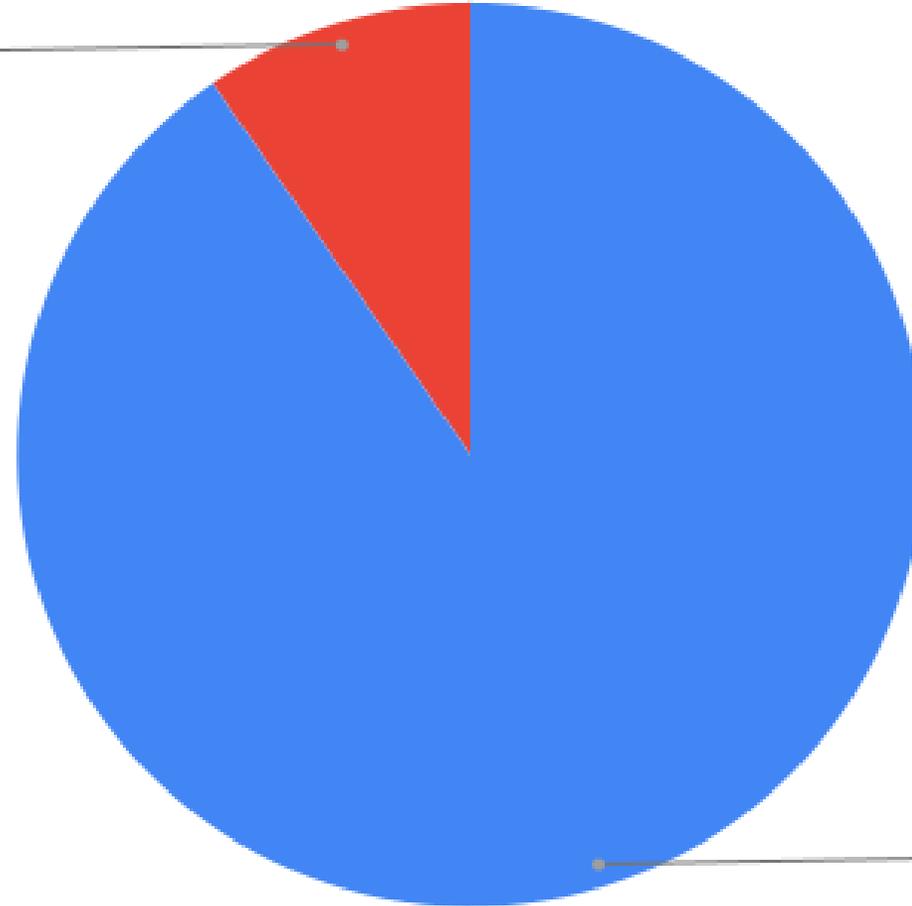
翻訳版の有無

全戯曲 989本

翻訳あり 86本

多言語翻訳がある戯曲比率

翻訳あり
9.6%



日本語のみ
90.4%

2. 調査結果

2.1 翻訳版の有無

他言語翻訳がある戯曲比率

英語 59本

その他言語のみ 22本

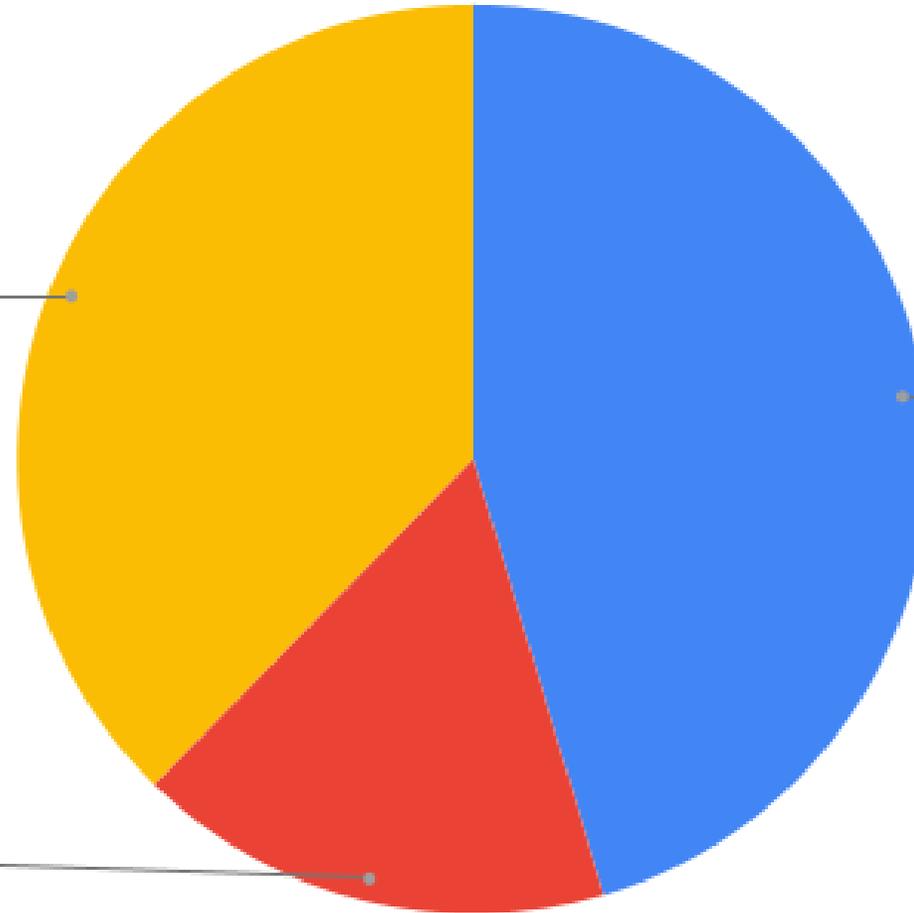
英語、その他言語 49本

英訳とその他言語訳の比率

英語、その他言語
37.7%

英語
45.4%

その他言語のみ
16.9%



2. 調査結果

2.1 翻訳版の有無

他言語翻訳がある戯曲

韓国語 30

中国語 15

フランス語 13

ロシア語 6

スペイン語 6

ドイツ語 5

アラビア語 3

タイ語 1

インドネシア語 1

ポーランド語 1

イタリア語 1

ウクライナ語 1

セルビア語 1

古代ギリシャ語 1

視覚言語 1

2. 調査結果

2.2 アンケート・聞き取り調査結果（抜粋）

- 公演映像の限定公開時、YouTubeの英字字幕として使用
- Google翻訳によるものなので、実際の使用に耐えうるものかどうかは保証できません
- もし英訳版のアーカイブが実装されましたらご連絡いただきたいです。
- 字幕用に翻訳経験のない学生さんに英語版を使ってもらったことはありますが、観客からあまり訳が良くないと言われて、その後使用していません
- ドイツ語に関しましては、ウィーンの大学の演出家と学生によるもので、私の手元にはありませんが、問い合わせることは可能です。
- 何年か前に、韓国でリーディングされたと聞いたのですが、その翻訳があるかが不明で、調べられていません
- 翻訳予定ですが、正確なローカライズのために割けるリソースがないので、あくまで「翻訳を希望している」状態です。
- シビウ国際演劇祭2020 オンライン・スペシャル・エディションにて英語・ルーマニア語字幕つきで配信
- 上記は視覚言語を使うろう者のコンテクスト変更による上演実施有り
- 現在は問い合わせがあったらお送りする形にしていますが、アーカイブができれば掲載したいです。
- 多言語による上演だった為、英語、中国語、インドネシア語、日本語が入り混じった台本です。
- 販売中の英語対訳本は、在庫がなくなり次第絶版となります。
- 「私の心にそっと触れて」は韓国語版もありますが、権利を持っていません。（翻訳者・石川樹里）
- 国際交流基金stagebeyond bordersにて、著作戯曲である「太平洋食堂」を英・仏・露・スペイン・中国語に翻訳されています。

3. 分析と考察

3. 分析と考察

3.1 分析

戯曲デジタルアーカイブに当時収集されていた戯曲989本中、約90%は翻訳されていない。

翻訳が存在する戯曲のうち、英語訳が存在する戯曲は、戯曲全体の10%未満である。英語以外の言語への翻訳が行われている戯曲はさらに少なく、全体の3%未満に留まる。これは、日本の戯曲が海外に発信される機会が限られていることを示唆している。

英語と英語以外の言語の両方への翻訳が行われている戯曲は全体の5%程度存在している。少数ではあるが、国際的な展開を見据えた作品が存在することが示唆される。

3. 分析と考察

3.1 分析

翻訳言語は英語が最も多く、次いで韓国語、中国語となっている。これは、日本の戯曲の主な読者、実演家が、英語圏と東アジアであることを示唆している。

翻訳版の入手方法はデータ、書籍、URL等様々であり、個別の作品ごとに確認する必要がある。このことは、翻訳版の入手を困難にしている要因の一つと考えられる。

調査に対する劇作家・権利者からの返信率は約85%であり、翻訳に関する情報を収集する上で課題が残る。

備考欄には、翻訳に関する情報や個別の戯曲に関する定性的な情報が記載されている場合が確認された。

3. 分析と考察

3.1 分析

1. 翻訳版の利用状況

- 公演映像（上映、記録媒体、配信等）の字幕としての利用
- 海外公演での上演台本または字幕としての利用（英語、ルーマニア語、ドイツ語、フランス語など）
- リーディング公演での上演台本としての利用（韓国）
- 翻訳版書籍として販売（英語対訳本など）

2. 翻訳の質と課題

- 翻訳経験のない学生による翻訳の質の低さ
- Google翻訳など、自動翻訳サービスの品質への懸念
- 正確なローカライズの必要性
- 金銭的、時間的、人的意味で、翻訳リソースの不足

3. 翻訳版の入手可能性

- 翻訳版はあるが所在不明である
- 翻訳版を戯曲デジタルアーカイブに収蔵する期待あり
- 著作権の問題（翻訳権）がある

3. 分析と考察

3.1 分析

1. 翻訳言語の多様性

- 英語、ルーマニア語、ドイツ語、フランス語、韓国語、中国語、インドネシア語、中国語（簡体字・繁体字）、など

2. 翻訳協力者

- 石川樹里、大学関係者 (青山友子、B/ハートリーなど)
- 国際交流基金

3. その他

- 多言語混在台本がある
- 絶版となった翻訳本がある
- 翻訳希望者、翻訳に対する支援の要望がある

3. 分析と考察

3.2 考察

日本の戯曲（演劇）への海外からの関心は高いと考えられる。理由は国際交流基金youtubeチャンネル STAGE BEYOND BORDERS へのアクセス数など。

英語訳のある戯曲の割合が少ない現状を踏まえ、翻訳を促進するための支援策を検討する必要がある。

具体的には翻訳希望者への助成金や翻訳者の育成などの制度を検討する必要がある。

英語以外の言語への翻訳についても、劇作家や権利者、当該国の演劇業界のニーズを調査し、必要であれば英語訳同様の支援策を検討するべき。

3. 分析と考察

3.2 考察

1. 日本の戯曲の海外展開の可能性

- STAGE BEYOND BORDERSや海外公演や国際演劇祭への参加実績から、日本の戯曲には海外展開の潜在的な需要がある。
- しかし、翻訳版の質や入手可能性が課題となっており、海外展開を阻害している可能性がある。

2. 翻訳の質の向上とサポート体制の必要性

- 翻訳経験の少ない学生や機械翻訳に頼る現状は、翻訳の質を低下させ、海外演劇人に不満抱かせる要因となる。
- 現役翻訳家の労働環境の整備や、翻訳支援制度の充実、新人翻訳家の育成が急務である。
- 正確なローカライズのためには、情報を蓄積、共有するためのプラットフォームが必要である。

3. 翻訳版のアーカイブ化とアクセシビリティの向上

- 翻訳版の所在が不明なケースが多く、アクセシビリティが低い。
- 翻訳版のアーカイブ化は、研究者や上演関係者にとって有益である。
- 権利者との連絡不可など著作権問題の解決や、出版社、海外エージェントなど関係機関との連携が課題となる。

3. 分析と考察

3.2 考察

1. 翻訳言語の多様性と地域ニーズへの対応

- 多様な言語への翻訳実績は、日本の戯曲ニーズが世界中の多様な地域にあることを示す。
- 地域ニーズに対応した翻訳言語の選択や、現役翻訳家の労働環境整備、新人翻訳家の育成の育成が重要である。

2. 翻訳協力者の重要性とネットワーク構築

- 翻訳家や劇団、大学関係者、文化庁、国際交流基金などの協力は、翻訳活動を支える上で不可欠である。
- 日本語戯曲の翻訳に関わる、制作者、利用者をつなぐネットワーク構築や、情報共有の促進が望まれる。

4. 今後の展開

4. 今後の展開

4.1 収集した情報の公開方法

収集した情報について、報告書としてまとめ、下記の方法で公開する。

1. web公開

文化庁

芸術文化振興基金

日本劇作家協会

4. 今後の展開

4.1 収集した情報の公開方法

収集した情報について、英訳戯曲に関して確認できた情報を下記で公開する。

2. 戯曲デジタルアーカイブweb上劇作家ページ

4. 今後の展開

4.2 総括

- 戯曲デジタルアーカイブ収集の日本語戯曲のうち、10%弱に英訳がある
- 英訳戯曲は書籍のほか、字幕や上演台本などの形で作成されている
- 英訳戯曲に対するニーズは、一定数あると想定される
- 英訳戯曲へのアクセスは整備されておらず、たどり着くための労力が必要
- 英訳戯曲の環境整備は、海外ニーズを増加させる可能性がある
- 環境整備には、翻訳家、劇作家・権利者、情報整理、海外ニーズの課題がある
- 翻訳家への課題には、現役翻訳家の労働環境整備、新人育成など
- 劇作家・権利者への課題には、翻訳支援や助成、権利関係整理など
- 情報整理の課題には、翻訳戯曲情報の整理やアクセス改善、上演申請など
- 海外ニーズの課題には、海外の業界団体や教育機関、エージェント連携など
- 効果的な環境整備に向け、追加リサーチの必要性がある

5. 付録

5. 付録

アンケート調査票

- 作品名
- 作品名（カナ）
- 劇作家名
- 劇作家名（カナ）
- 返信の有無
- 英訳の有無
- 日英以外の翻訳の有無
- 今後の翻訳予定
- 英訳名
- 翻訳者名
- 入手方法
- 入手先URL
- 日英以外の翻訳言語
- 備考

5. 付録

調査記録

別紙添付

文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業：英訳戯曲有無リスト.pdf

- 発行日

2025年2月20日

- 作成者

一般社団法人日本劇作家協会アーカイブ委員会

東京都杉並区高円寺北2-29-14-501

office@jpwa.jp

- アーカイブ委員会

委員長：黒澤世莉

委員：福田修志

戯曲デジタルアーカイブWG：

加藤真史（ジェシカ） 清野和也 田中雅樹 四方田直樹 美崎理恵